

# 労働

## 賃金

平成26年の常用労働者の1人平均月間現金給与総額（事業所規模30人以上の事業所）は35万5,429円でした。このうち定期給与は28万9,356円、特別給与は6万6,073円となっています。

現金給与総額を産業別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業が52万9,716円で最も高く、次いで学術研究、専門・技術サービス業の48万2,159円、建設業の46万3,539円の順となっており、宿泊業、飲食サービス業が12万7,121円で最も低くなっています。

図44 産業別1人平均月間現金給与総額(平成26年)

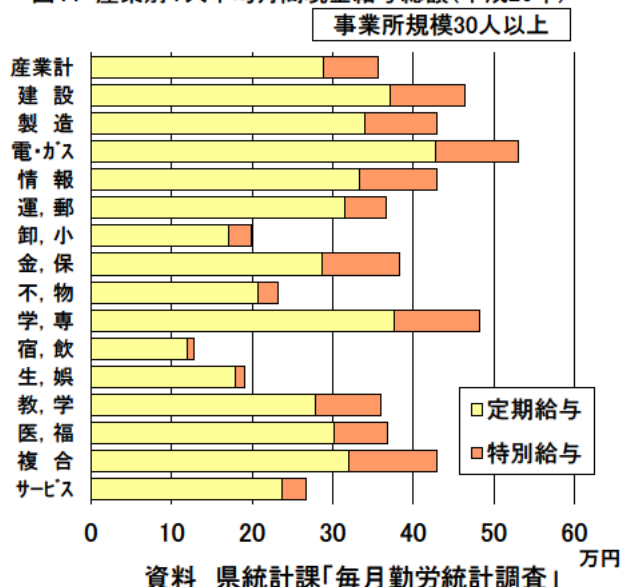
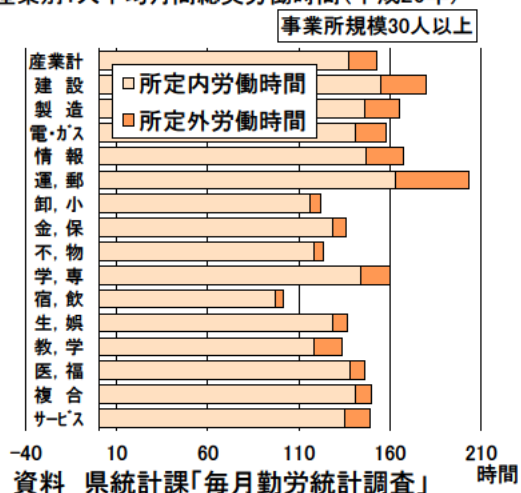


図45 産業別1人平均月間総実労働時間(平成26年)



## 労働時間数

平成26年の常用労働者の1人平均月間総実労働時間数（事業所規模30人以上の事業所）は153.0時間でした。

このうち、所定内労働時間数は137.6時間、所定外労働時間は15.4時間となっています。

総実労働時間数を産業別にみると、運輸業、郵便業が203.3時間で最も長く、次いで建設業の179.8時間、情報通信業の167.5時間の順になっており、宿泊業、飲食サービス業が101.2時間で最も短くなっています。

## 雇用

平成26年度の年度平均月間有効求人数は3万4,219人で、前年度に比べ1,071人（3.2%）増加し、年度平均月間有効求職者数は2万7,695人で、2,519人（8.3%）減少しました。

有効求人数を有効求職者数で割った有効求人倍率は1.24倍で、前年度に比べ0.14ポイント上昇しました。

図46 雇用動向の推移

